

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	砂防河川改修事業				
地区名	音為川				
事業箇所	新城市門谷				
事業のあらまし	音為川は、多数の土石流危険渓流を支川にもつ砂防指定地内の河川であり、下流では一級河川豊川に合流する。上流域では砂防堰堤が整備されているが、洪水による溪岸浸食等の土砂災害から下流域の人家を保護するため渓流保全工の整備を行う。				
事業目標	【達成（主要）目標】 ・ 人家5戸を土砂災害から保護することを目標とする。 【副次目標】（必要に応じて記載する） ・ なし				
計画変更の推移		事前評価時	再評価時	変動要因の分析	
	事業期間	H18～H26	H18～H33	補償調整の難航	
	事業費（億円）	3.4	3.4		
	経費内訳	工事費	2.3	2.3	
		用補費	0.6	0.6	
その他		0.5	0.5		
事業内容	渓流保全工 L=293m	渓流保全工 L=293m			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 ・ 保全対象を土砂災害から保護する必要がある。 【再評価時の状況】 ・ 保全対象に変化はない。 【変動要因の分析】 ・ なし			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。 【理由】 ・ 事業着手時からその必要性について変化はないため。		

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】																			
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33			
	工種 区分	調査・設計	←		→						←	→		←	→				←	→	
		用地補償			←	→					←	→									
		工事																			
		溪流保全工										←	→		←	→				←	→
	事業費 (億円)	計画			1.5						1.9					1.8					0.5
		実績			0.5						0.6										
			【進捗率】																		
				これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況														
			計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】														
		延長(km)	0.29	0.02	6.9%	0.29	6.9%														
		事業費(億円)	3.4	1.1	32.4%	3.4	32.4%														
		工事費	2.3	0.1	4.3%	2.3	4.3%														
		用補費	0.6	0.6	100.0%	0.6	100.0%														
		その他	0.5	0.4	80.0%	0.5	80.0%														
		【施工済みの内容】																			
		・溪流保全工 22m																			
	2) 未着手 又は長期化の理由	・計画区間にある施設の補償方法について、調整に時間を要したため。																			
	3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・補償方法調整の難航 【今後の見込み】 ・H25年度に補償済であるため、平成33年度までに完了する見込みである。																			
	判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 ・H25年度に補償済であり、計画どおりの完成が見込まれるため。</p>																			
III 対応方針																					
	継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。																			
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																					
	■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 ・該当なし																				

【主な評価内容】

- ・砂防堰堤や保全対象の状況から、事業効果を確認する。